

# ゆう小だより



## 読書と読み聞かせ

人類がことばをもったのは、ざっと5万年前といわれています。それ以来、書くという行為はないまま、長い間ことばが音として機能してきました。文字が考案されたのは、おおよそ5千年前ですが、そののちも文字の文化と声の文化が共存してきました。ずっと下って、500年前に印刷が発明され、これにより文芸は、小説など、複雑で内面的なスタイルに変化し、声を出さない黙読の広がりをもたしました。ここ1世紀は、ラジオ、レコードなど機械を通した二次的な声の文化と、視覚、聴覚双方を刺激するテレビや電子メディアが次々開発され混在するめまぐるしい環境となりました。

現代の赤ちゃんはこの只中に生まれてきます。ひとりの人間の言語習得や文学体験の道程と同様、生の声を聞くこと、声を発することが土台となり、そのあとに文字を理解し、表現するという流れが自然なのではないでしょうか。活字として記されているものを肉声で語ること、読んで聞かせることは、ことばを本来の姿に戻すことなのです。

近くにいる大好きな大人の声にのせて読んでもらおうと、字を読むという技術に煩わされることなく絵や物語を楽しむことができます。声に出すと、黙読するより十倍も時間がかかりますが、その分ゆっくと、大きく深く世界が広がります。また、特に意識しなくても、読み手が心を動かされたり笑いがこみ上げたりしたことが伝わります。こうして、人が仲立ちすることで味わいが増すところが、本という昔ながらのメディアの強みではないでしょうか。

読み方に特別な技術はいりません。俳優や朗読家ではないのですから、登場人物によって声色を使い分けたり、感情を出したりする必要はないのです。読みながら、「これは何?」「いくつある?」などと質問攻めにしたり、説明を加えて自分の解釈を押しつけないのはやめましょう。また、読み終わって無理に感情を聞くのも控えたいものです。絵本や物語は教材ではなく、楽しむもの。ストーリーに身を委ね、そこから受け取った様々なことをゆっくり時間をかけて、心の中でふくらませる自由を残して置いて下さい。

毎日の生活の中で、テレビを消し、スマホやパソコンから離れて15分でも20分でも、本を読んでもらう習慣は、子どもたちにとって至福の時間です。そして親や周囲の大人にとっても、日常の煩わしさから解放される貴重なひとときとなるでしょう。

～東京子ども図書館理事長 張替 恵子氏「日本教育10月号」より抜粋



夕張市学校運営協議会の取組で、「家庭学習強調週間」というのがありました。今の生活を変えるというのは、なかなか難しいことと思いますが、今回の取組の結果を記したファミ・スタカードが学校に届き、目を通しました。「家庭で楽しく取り組めた」「これを機会に生活習慣を見直そうと思いました」などの感想があり、取組の大事なねらいがおおむね達成されたと思います。

これを機に、張替氏が言っているように、一日の中の少しの時間、本の読み聞かせや本を自分で読む時間をつくることを私からもおすすめします。

## 子どもたちの活躍

- 夕張ダイヤモンドスターズ  
第5回栗山ロッキーズカップ 第3位(10/8)



- 夕張JVCレガメツ  
第38回道新カップ北海道小学生バレーボール道央ブロック大会(11/4)  
優勝

- 相撲  
第33回夕張相撲選手権大会(11/11)  
小学2年生の部 関脇 永山綜太郎君  
小学6年生の部 関脇 永山航志郎君





# 笑顔があふれた「ゆう小まつり」



11月22日(金)に「第8回 ゆう小まつり」が開催されました。「ゆう小まつり」は、児童会が主催し、開校以来とても子ども達に人気のある行事です。お店の利用に当たっては、「ペットボトルのキャップ」が必要であり、これは、ボランティア委員会の活動とも連動しています。

当日は、たくさんの園児の皆さん、ボランティアのみなさんや保護者・地域の皆様にもご来校いただきました。ありがとうございました。笑顔満開の一日でした。



## クリタ ー ン 張 day

CSの取組で今年度初の「夕張クリーン day」(登校時ゴミ拾い)が16日(金)に行われました。バス通学の児童はバス停までということでしたが、南部地区はゴミが落ちていなかったそうです。やはり徒歩通学の児童たちはたくさん拾ってきていました。学校の玄関前で児童会の役員や環境委員の子たちがゴミを受け取りました。

子ども達と一緒に歩いていただいた保護者からのお話では、夢中になり過ぎて、崖に登ったり、割れたガラスがあったりと、安全面での課題もありました。地域の大人の人と一緒にできるようになると、取組の幅も広がると思います。次回は春です！



## □■□保幼小交流会□■□

28日(水)に第2回保幼小交流会が行われました。

今回は、1年生が学習発表会で行った器楽や劇などを発表して楽しんでもらいました。最初に緊張しながらもお兄さん、お姉さんらしく(?) 歓迎の言葉を述べて、発表がスタートしました。

園児のみなさんも「来年は自分たちの番だ!」と、楽しみにしてくれたことでしょう。



## 12月のよてい

- 3日(月) 参観・懇談会(高) かつい E3・6年  
4・5年親子レク
- 4日(火) 参観・懇談会(低) 3・2年親子レク
- 5日(水) よみかせ2年・ブットク5年 かつい E5年
- 7日(木) 食の指導 3・4時間目 児童委員会①
- 8日(土) PTAレク「ふわっとサル」
- 10日(月) クラブ⑨ 図書返本週間(～15日)
- 11日(火) 期末5時間 縦割り班給食 代表委員会
- 12日(水) よみかせ3年・ブットク6年 かつい E5年
- 13日(木) 清掃週間(～21日)
- 17日(月) クラブ⑩ 冬休み図書貸出週間
- 19日(水) よみかせ1年・ブットク4年 かつい E3・4年
- 21日(金) 終業式 大掃除

三学期スタート 1月16日(水)